

地域経済の自立に向けて

北海道における内発的発展を考える

北海道拓殖銀行の破綻、2001年の中央省庁再編による北海道開発庁の国土交通省への統合という流れのなかで、北海道は依存体質から脱皮を図っていくことが急務となっています。

北海道が自力で立ち上がっていくための知恵は——。

いま、地域資源を有効に活用し、自主的に地域の発展を図る“内発的発展”という理念が、改めて着目されています。北海道においても、これまで地場産業論や一村一品、地域おこしなどの取り組みがありましたが、産業クラスターやエア・ドウの取り組みなど、新たな内発的といえる地域活性化の動きが見られます。これらの取り組みをレポートするとともに、この機会に北海道型の内発的発展のあり方を考えてみます。



Contents 目次

Report : **レポート1**01

エア・ドウの挑戦

——北海道における内発的発展への課題

Report : **レポート2**07

産業クラスター創造へのみちのり

——新たな内発的産業育成をめざして

Contribution : **寄稿**13

内発的発展と地域活性化

北海道大学文学部教授 **金子 勇**

Interview : **インタビュー**20

北海道開発と内発的発展

釧路公立大学教授・地域経済研究センター長 **小磯 修二**

Case Study : **地域事例**26

中札内村の足跡

——自主自立の精神を次代へ